

Atsugi Science Fair

日時：6/27（金）4，5校時

場所：厚木高校各教室

○「Atsugi Science Fair」ってなに？

「Atsugi Science Fair」とは、3年生が2年次に取り組んだヴェリタスⅡの研究を、1年生を対象として発表する探究成果発表会です。発表は全て英語で行われ、質疑応答も英語で行われます。今年度は各会場に英語話者（ALTの先生や日本の大学に通っている留学生の方々、大学の先生など）をお招きして、より高度で実用的な英語コミュニケーションの場にもなりました。

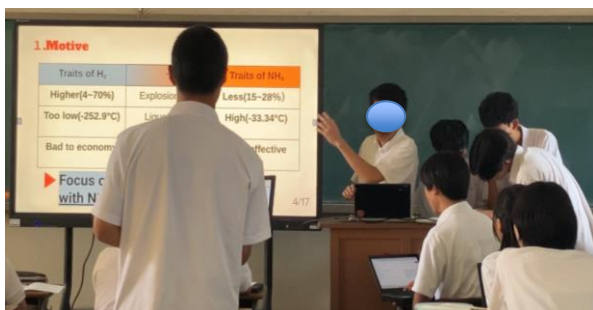
○準備！

当日に向けて、1年生は事前に先輩が作成した研究レポートを読み込んだり（前記事「ヴェリタスの日」）、英語の授業では研究内容に出てくる難解英単語を予習したりと、英語での発表が理解できるよう取り組みました。

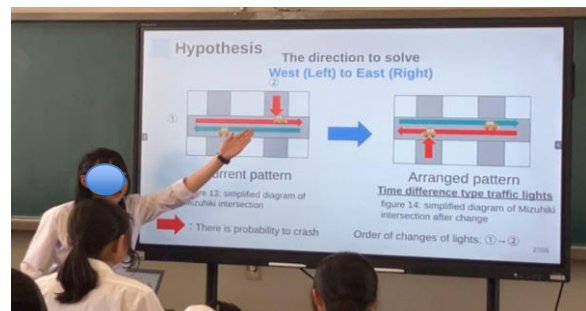
3年生は、1年生が理解できるよう、内容をかみ砕いたり、できるだけ難しい単語や表現を使用しないようにと工夫を重ね、発表練習に取り組んできました。

○いざ当日！

当日の様子ですが、1年生は緊張しながらも、準備した質問を投げかけたり、3年生は英語話者の質問に対して時にはとまどいながらも、班で協力しながら回答したりと、一生懸命取り組む姿勢が見られました。お互い準備した甲斐もあり、素晴らしい発表と活気ある質疑応答になったと感じます。



生徒からの質問に対して回答している様子



スライドを用いて英語で発表している様子

○振り返って

生徒やゲストの方の感想をいくつか載せます。読んでみて、どのようなイベントだったか感じ取ってもらえればと思います。

全員が積極的に参加していて実験もとても参考になるものでこれからのヴェリタスについて前向きに考えられる一つの要素になりました。（1年生）

こんなに英語を長時間聞いたりすることはあまりないと思うし、勉強もできるので、聞き取るのに集中しすぎて多少疲れたところはあるのですが、こういう機会があって良かったと思います。（1年生）

多様な研究テーマに触れることができ、自分の視野が広がりました。より深く考察していたり実験していたりして、興味深かったです。来年の自分の研究ではこれらを元にテーマや実験を行えそうです。（1年生）

今ヴェリタスで学んでいるグラフなどが先輩方のスライド中にたくさん使われており、1年時から積み上げていくことの大切さを改めて痛感しました。また、思ったよりも内容が難しく理解できなかったのも、日頃から英語や理系科目はもちろん、他の科目もまんべんなく勉強して2年時のヴェリタス発表、そして大学入試やその先の進路へとつなげていきたいです。（1年生）

生徒さんたちが、みんなで考えようとする気持ちが伝わってきました。グループの生徒さん同士、達成感を共有できるととても良い機会だと感じました。（外部来校者）

The way all students, regardless of their English proficiency, were able to present their research in English was very impressive. （英語ゲスト）

They were nervous at first, but everyone did a great job, especially the first-year students who asked questions and the third-year students who answered them. I think some of our questions were difficult to answer, but I was impressed by their willingness to try. （英語ゲスト）